

2018年・越冬期調査の報告

この1月7日(日)朝10時～12時の2時間で実施しました「東京および近郊(とうきょう)のオオタカ・ノスリの一斉調査・第1回」には、17か所から報告があり、オオタカ6羽/5か所、ノスリ4羽/2か所、ツミ2羽/2か所、ハイタカ4羽/3か所、トビ6羽/2か所、ハヤブサ1羽/1か所、チョウゲンボウ1羽/1か所が記録されました。

また、1月6日(土)～14日(日)に実施しました「カモを中心とした個体数調査」には25か所から報告がありました。調査された方々、協力いただいた皆様に感謝いたします。今回はオオタカ・ノスリ調査の報告の一部を紹介します。

[研究部]



23区内の緑地にすむオオタカ(真下 弘氏撮影)

興味ある猛禽類の報告紹介 [場所および報告者名は伏せています]

1. JR山手線内の緑地から：調査時間 9時15分～13時30分

オオタカ(成鳥) [出現時刻・状況]

10時31分 1羽：緑地の南側住宅地上空にてドバトの群れ10羽程度を追っていた

10時35分 1羽：緑地の南側住宅地上空を東から西に飛翔

10時41分 1羽：庭園上空をハイタカと絡み合いながら西から東に飛翔

ハイタカ(雄)

9時27分 1羽：ガーデン上空を飛翔

10時41分 1羽：庭園上空をオオタカ成鳥と絡み合いながら西から東に飛翔

12時56分 1羽：緑地中央部の森を掠めるように飛翔して庭園北側の森に突入

ハイタカ(幼鳥)

9時33分 1羽：緑地中央部上空を北から南へ飛び、反転し西方向に飛翔

13時21分 1羽：庭園上空を北西方向から円弧を描くように南西方向に飛翔

ツミ(成鳥雄)

10時55分 1羽：池の奥から南西側に向かって飛翔。途中、池畔のハゼノキにとまっていたシジュウガラを捕食。梅林上空を飛翔して森の中に

※緑地内では昨年12月初旬よりオオタカ成鳥・幼鳥、ハイタカ成鳥・幼鳥、ツミ雄・雌の出現頻度が昨冬・一昨冬に比してかなり高くなっていて、今回の調査結果もそれを裏付けるものとなった。

2. 23区住宅地の公園から：調査時間 9時～12時

オオタカ 成鳥1羽、若鳥1羽確認。成鳥はバードサンクチュアリでキジバトの捕獲を狙ったが失敗。向かいの枝に止まった。若鳥は、観察終了間際に高い梢に止まったが、カラスに追われて飛び去った。成鳥の観察は11時33分ごろ、若鳥は12時ごろであった。

3. 多摩川の川沿いから：調査時間 10時～13時30分

この時間帯で記録した種類・個体数は、オオタカ2羽、ノスリ1羽、ハイタカ2羽、トビ5羽。トビとハイタカ1羽は調査時間内で記録。他は12時30分ごろ。

カワセミ・繁殖状況をお教えてください

研究部では、カワセミの都内での繁殖状況を調べています。場所の公表はしませんので、情報・写真をお寄せください。〔詳しくは11ページをご覧ください〕

4点のカワセミの写真はいずれも今年の営巣地での状況調査時のもの。カメラは双眼鏡感覚で撮れる「高倍率デジカメ」を使用。調査にあたっては繁殖妨害にならないようにご配慮ください!〔カメラについては本誌2月号裏表紙をご覧ください〕
〔川内 博氏撮影〕



成果は本誌のほか、**細田工務店・ショールーム**〔JR阿佐ヶ谷駅近く〕でも発表の予定

